

ちいきのなかま通信

No.79

発行日：2020年1月23日

発行者：特定非営利活動法人 ちいきのなかま

「子育て」をキーワードに

「しあわせなまちづくりワークショップ」開催直前！

～統一地方選前の「ママと市議選候補予定者 ガチトーク」から

しあわせなまちづくりへ、私たちの取り組みは前進を続けています～

あなただけの「しあわせ」は何ですか？
 誰かから見せしめられたらどう感じるのか、私たちが進む「佐世県」を「しあわせなまち」にするには
 「なにが必要？」「なにができる？」を語るワークショップをおこないます

2020年 1月 26日 (日) 10:00～12:00
中央公民館 第3講座室
 (常盤町6-1 ミニエテナ街入口より2階へ)

講演会「つながりは健康と幸福を育む
 ～近年のエビデンスや当院の取り組み～」

石坂 俊輔 氏 (脳神経外科専門医、認知症サポーター)

2004年山口大学医学部卒、2014年スタンフォード大学脳神経外科専攻研究員を経て、2017年岩田脳神経外科
 副院長に就任、2019年より常盤町センター経営委員を務める。

ワークショップ
 個人のグループに分かれテーマに沿ったそれぞれの考えや
 思いなどを話し合います。

協力
 石坂脳神経外科 株式会社えびす SKI 3-01-0907
 常盤町子育て支援センター 山崎 慧 090-9498-2808
 (NPO法人ちいきのなかま)

政策やサービスはどんどん整っていくのに、なぜ「子育てが大変！！」の実感を変えることができないのか…。

ママたちの気づきを政治に反映させたい、投票率を次世代の動きで高くしたいと考えて2019/4/12に開催した「ママと市議選候補予定者ガチトーク」から9ヶ月経ちました。ひとつの目標だった投票率を高めたい、は残念ながら実現しませんでした。でも参加して下さった市議候補の皆さんは全員ではありませんでしたが、いま市議員として活躍されています。新たに政治の道を歩み始めた皆さんは、あの時の思いを胸に、いま力をつけながら、実現に向けて日々活動されていることと思います。では私たち市民は何ができるのでしょうか？このイベントでは、私たちがどうする？を考えます。

支援の現場には支援者と支援を受ける人がいます。

私たちは子育て支援では支援を受ける人々を固定化してはいけないと考えています。支援された人たちが将来的には支える立場になってもらえるようなイメージ。実際ファミサポ事業では子育て中の方で支援もする両方会員という方がいて、子どもさんが成長された段階で提供会員さんになって活動されている方もいます。人口減少社会になっていくなかでは、共同体での支え合いはとても大切です。希望する方が社会に役割や居場所をつくり、未来のまちづくりにご尽力いただければ何よりです。

長 山崎 衆行 月

2020年(令和2年)1月23日 木曜日 **ローカル**

佐世県保市で子育て支援にとに議論、子育て支援団体
 携わる有志でつくる「佐世 市に加入、病院や地域おこし
 保を考えるママの会」は、に取組む企業関係者な
 さまさまな立場の市民が町 どもも参加し、話し合いをサ
 づくりについて話し合うフ ポートする。石坂脳神経外
 科(卸本町)の石坂俊輔副
 市長、常盤町の市中央 院長による地域の多世代交
 流に関する講 演会もある。

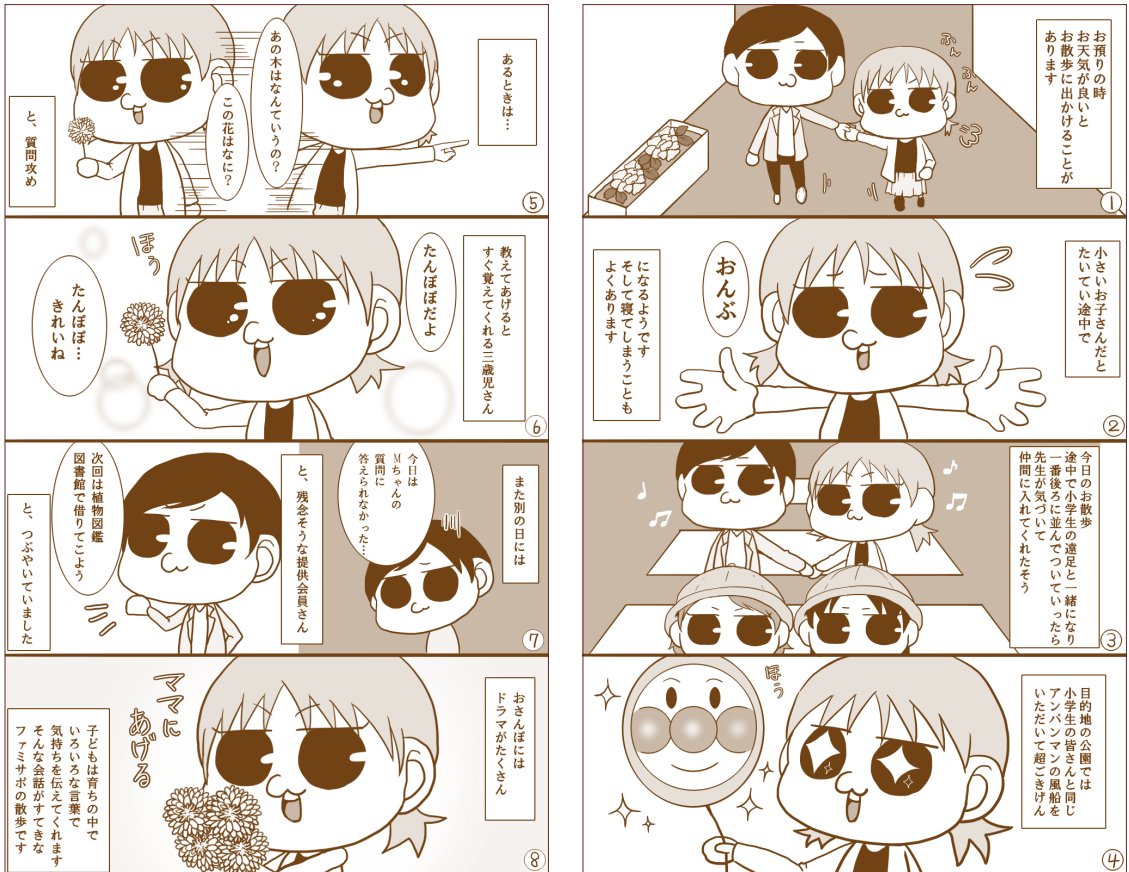
昨年4月、
 市内の母親と
 市議選の立候
 補予定者から子
 育を話しやす
 い町の在り方
 について意見交換する催し
 を開いた。そこで出たアイ 呼び掛けに
 デアを形にするために、多 NPO法人「ちいきのなか
 様な市民とのつながりをつ ま」のホームページから
 くろうと企画した。 ワークショップでは、「あ
 なたにとっての幸せは何 ちいきのなかま(電090
 な」としての幸せは何 9498・3608)。
 か」をテーマにグループこ (嘉村友里恵)

26日に町づくり
 ワークショップ
 ママの会の
 山崎慧さん
 (39)は、「いろ
 いろんな人に来
 てもいい、何
 かを一緒に始

いらすとでみるちいきのなかま「〇〇のこ～んなかんじ」
ちいきのなかまの周りで起こる出来事をイラストで紹介☆

ファミサポおさんぽ こ～んなかんじ

by 蓮すけ




何気ない子どもとの会話の中に、実は子どもの内側にある様々な思いを感じる場合があります。幼い時にお父様と死別されたお子さん、当時は小学生でした。ファミサポの利用で塾の帰り一緒に歩いているときのこと、お子さんが提供会員さんに、まるでお父さんが生きていて、昨日あったような出来事を話されたという報告を受けました。内心戸惑いつつも、提供会員さんはそのお話をうけとめてくださいました。

そのような報告をお聞きする会話を通して、支援する皆さんの豊かな想像力を感じます。この子は何が好きなんだろう、いつもどんな風にご家族と会話しているんだろう…。毎日会うわけではないからこそ、提供会員さんは想像力をフル回転、会話は豊かに膨らんでいきます。

会話を楽しむ…忙しい毎日のなかでそうしたいけれどできないことのほうが多いように思います。サポートは日々の時間の流れにぽっかりとあるポケットのような時空間です。限られた時間と空間だけれど、そのひととき、子どもさんひとりひとりが主役です。子どもが大好きで受容できる大人の人と関わる機会は、実は子どもの社会性を育む上で貴重な時間なのではないか…成長していく子どもさんを見ながら思っています。

テーマ 病気や障がいを持つ子のきょうだい支援

きょうだいが持ちうる悩みと 人間的成長の可能性



2019年11月30日（土）五島市、2020年1月12日（土）佐世保市、と2箇所で「きょうだい支援講演会」を開催し、今年度のきょうだい支援の大きなイベントは無事終了いたしました。この事業の開催は九州ろうきんNPO助成によるものです。

今年は、離島開催を実現したこと、「医療的ケア児」の家族支援を考えることができたことは新たな一歩となりました。きょうだい当事者からのお問い合わせもあるのですが、なかなか多くの参加をいただくことはできていませんが、また、企画して行こうと思います。いま全国各地で大人のきょうだいたちが次世代のために活動しているようです。本当は子ども時代からの支援が有効です。長崎県での当面の目標は「きょうだいにも支援が必要」であることを多くの人に伝えること。近い将来一緒にこの活動を支えてくれる仲間を探していこうと思っています。

アンケート(抜粋)

- ・障がいを持つ当事者のみに視点を置いて支援を考えている自分に気付きました。
- ・「親は半生、きょうだいは一生」という言葉は本当だと思う。
- ・今回は五島にとってまずは“第一歩”。これから輪を広げ、声に出さない隠れた部分（兄弟姉妹）に目を向けられる人間に成長したいと思いました。
- ・きょうだい児についての漠然とした思いがこの講演をきいて具体的になり、支援の仕方が見えてきました。保護者の方に伝えていきたいなと思いました。
- ・きょうだいの子どもの時代の感情が一生付きまとうことの重大さを感じました。
- ・私の2歳上の兄が先天性障がい者です。今回の講演会のタイトルが興味深く、これまで五島でこのようなお話を聞く機会はなかったので、参加させていただきました。
- ・お話しの中にあつた「人間的成長」を知った上で、きょうだい支援を考えていきたいと感じました。
- ・きょうだい児の心の中ではいろいろな思いがあることを感じました。
- ・当事者のお話をあくまでも専門的にご講義いただき大変参考になった。長崎県において、これから取り組む団体が増えるとよいと思う
- ・きょうだいにいい子が多いが、感心ばかりでなく、何か力になりたいと思った。

初めてお話を聞いたという感想も多くて、まだまだこれからの取り組みが必要だと思った次第です。

●これからベントや講座の予定●

よろしければ予定に書き加えていただければ幸い。

イベントには有料・無料、託児の有無などあります。事前にお問い合わせください。

イベント名	日時	会場	内容
サポーター向け 抱っこおんぶ講座	1月28日(火) 10:30~13:30	ボランティア センター別館	抱っこおんぶを学ぶ・支 援者交流快アリ
ぼちぼちヨガ教室	2月3日・10日 (月) 13:50~14:50	ボランティア センター別館	定期開催 参加費¥500 会員外¥800
講座 「支援現場の対話の スキルと解決志向ア プローチ」	2月7日(金) 10:00~12:00	ボランティア センター別館	託児有り
「夫婦会議の体験講座」	2月8日(土) 13:30~16:30	佐世保市労働福祉 センター3F	託児有り(¥300) 参加費 1組 ¥2,000
ファミサポ交流会	2月13日(木)	山澄地区公民館	マフィン作り
みんなの実家交流会	2月15日(土)	みんなの実家 モントブレア	だしを知る・交流する
おもちゃ図書館	12月17日(火) 10:00頃から	ファミサポ事務所	参加費無料
第三回ファミサポ 会員養成講座	2月25日~ 2月27日	山澄地区公民館	参加費無料

寄付のお願い

今年も赤い羽根共同募金テーマ募金で寄付を募っています。この寄付は出産前後に手助けがなく厳しい環境で子育てをスタートさせているご家庭を対象に、家事サポートが受けやすくなるように補助することに活用します。ぜひご協力ください。

NPO法人ちいきのなかま

入会・会員(正・賛助)会員継続のご案内
正会員:総会議決権あり 入会金¥1,000 年会費¥6,000

賛助会員:総会議決権なし 年会費¥3,000

主な特典:各種事業会員特別料金にてご優待

連絡先 NPO法人ちいきのなかま



〒857 0022長崎県佐世保市山手町9-19

携帯 090-9498-3608

E-mail:chiikinonakama@basil.ocn.ne.jp

HP:http://chiikinonakama.boj.jp/

使いみちを選べる募金

みんなの実家プロジェクト

～出産前後に家事サポート、産後の出産のよりに、産後の暮らしを応援「こ」ご寄付を募ります。子育て・出産前後に実家に慣れない、事情があって実家に慣れない人が増えています。産後に十分子育てできないお母さんや子育てが困難な状況に陥るお母さんが増えるにつれて、産後の生活が困難になります。お母さんや子育てが困難な状況に陥るお母さんが増えるにつれて、産後の生活が困難になります。

募金の使われ方

この事業は子育て支援のNPO法人で運営しています。お母さんや子育てが困難な状況に陥るお母さんが増えるにつれて、産後の生活が困難になります。お母さんや子育てが困難な状況に陥るお母さんが増えるにつれて、産後の生活が困難になります。

NPO法人 ちいきのなかま

〒857-0022 長崎県佐世保市山手町9-19
TEL: 090-9498-3608
E-mail: chiikinonakama@basil.ocn.ne.jp
URL: http://chiikinonakama.boj.jp/